

湖池屋新聞

第27号

2022年4月4日(月)

編集長兼コラムーチョ担当の

小林です！**埼玉・久喜にある全**

国唯一の湖池屋アンテナショッ

プ「別邸湖池屋」発、社員の声が

聴けるオリジナル新聞です。

4月から新生活をはじめ

方、色々ばたばたと大変か

もしれませんが、志も新たに良い

スタートを切れるよう応援しています！

年度初めに決める目標や心意気って、

やっぱり大事ですね。僕も新しいことを

始めようと思立ちまして、最新型のタブ

レットを奮発買いし、学生の頃描いていた

4コマ漫画にリベンジしています。タッチ

ペンでお絵描きするのは慣れないですが、

新しいことにチャレンジするとやっぱり脳

が活き活きする感じがしますね。でも今の

学生たちは授業でタブレットを使うのが当

たり前らしい……侮られないよう最新技術

を使いこなさなきゃ、という焦りもあつた

ります（笑）。

まあ僕のこととはともかく、この春、湖池

屋の定番スナックたちも、皆さんにもっと

湖池屋新聞 編集長 小林 重文
(株)湖池屋 マーケティング部
コラムーチョ担当



新商品

4月4日(月)

※全国スーパーマーケット等 発売日

ドンタコス

チリトマト / トリュフ&ソルト

美味しく味わってもらうべく、それぞれの抱負を胸にアップデートしております！

日本生まれのトルティアチップス「ドンタコス」が、ごらんの通

リスタイリッシュに生まれ変わりました！これ、中身も本当に美

味しくなっています。とうもろこし100%の生地は、**今まで以上**

にパリッ！サクッ！とクリスピーに、そして口溶け良く進化。湖池

屋商品の中でもかなり手間のかかる「焼いてから揚げる」製法な

らではの軽快食感です！「チリトマト」は爽やかなトマトの旨みと、

数種のスパイスが織りなす間違いな

い美味しさ。さらに新ラインナップ

として「トリュフ&ソルト」が登場。

芳醇で奥深いトリュフの香りがたま

りません。ポテトチップスでは密か

なブームが来ているトリュフ系です

が、トルティアではかなり珍しいの

では？

さて今回は、パッケージの方のリニューアルに携わった大石さん

にインタビュしてみました。（ちなみに大石さんは、この新聞の

全体デザインを確立してくれた恩人でもあります！）

デザイナーは、

デザインするだけじゃない！

大石 今回のリニューアルは、私がすべてのデザインをしたわけで

はなくて、内部や外部のメンバーを巻きこんだ一つの大プロジェクト

でした。だからこそ、みんなで目指す方向を共有することが大事



でした。今までのドンタコスの「ラテン的で楽しい雰囲気はあるけど、何となくパツとしない感じ」から、どう生まれ変わっていききたいか、議論を重ねました。

小林（資料を見て）「ミラクルチェンジ大作戦！」って書いてありますね。

ますね。

大石 今までのドンタコスは言ってみれば、身なりに気を遣ってこ

なかつたせいでダサく思われている「おっさん」のような存在だっ

たんじゃないかと（笑）。お店でも安くてもジャンクなおつまみ扱いで、**手**

間ひまかけた上質さが伝わっていない。そのギャップを埋めることができ

れば、もっとかつこよく、老若男女に良いと思ってもらえる存在に本当は

なれるんじゃないかなあ……と考えたんですよ。

小林 具体的に、どんなところに苦労しましたか？

大石 色々ありますが、商品の核となる要素として、**トルティアならではの**

の「三角形」をドーンと象徴的に活かせないか、試行錯誤しましたね。た

くさんあったチップスの写真も思い切って一枚にすることで、印象が強

なったかと。さらに、外部デザイナーの方からの案のなかに、この「**逆三**

角形」の背景が出てきて、「これいいね！」となりました。

小林 チームで一つの目標に向けて色々試してみたからこそそのデザインな

んです。逆三角形、**なんだかパリッと糊のきいた背広みたいで、まさに**

「おっさん」を脱して**カッコよくイメチェンした**って感じがします。

大石 確かにそうですね（笑）。言われた通りにデザインする、という作

業ではなく、**商品自体が目指したいキャラクターを具現化していく**という

経験は、とても勉強になりました。デザイナーって、良い感じに見た目を

ととのえるだけの仕事じゃなくて、**商品のほんとの魅力をお客様みんなに**

見えるようにする、とても大事な役割なんだな、と改めて思いました。



(株)湖池屋 マーケティング部
大石 風花

ロングセラーだからこそ、湖池屋チームの熱い熱い想いがこもった「ド
ンタコス」大リニューアル。その進化のほどを、ぜひ体感してみてください！